

津房地区公民館便り

編集・発行
津房地区公民館

電話番号
48-2001



四月・五月と空席となっていた公民館長に、六郎丸の大坪一郎氏が着任されました。

就任あいさつ

六月一日付けで、前小野館長の後任として、津房地区公民館長に就任いたしました大坪一郎です。

公民館のすぐ近くに自宅があり、公民館を身近には感じていましたが、まさかの大役に驚きとともに、身の引き締まる思いで一杯です。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、私たちの生活をはじめ公民館行事や活動も様々な制限の下で行われていましたが、ようやく本来の姿に戻ってきているように感じています。公民館関係・地域住民の皆様と、知恵を出し合いながら、大きな不安を抱えている今こそ、地域で最も身近で頼られる公民館として、アフターコロナ・ウィズコロナを踏まえた事業に地道に取り組んで参りたいと考えています。

ことしの津房ふれあい大運動会は 9月17日(日)8:30~

6月13日(火)に新館長大坪氏(大運動会実行委員長)、岩男博之氏(区長会会長)、佐藤勝氏(津房小学校校長)、岡喜久夫氏(まちづくり協議会事務局)とことしのふれあい大運動会実行委員会に向けての事前の打合せを行いました。

この3年間、雨や新型コロナウイルス感染症により未開催となっていた「地区体」を今年度も津房小学校大運動会との共催で上記の日時で行うこととなりました。

詳細は7月18日(火)の実行委員会を経てお知らせいたします。実行委員の皆様には案内状を送らせて頂きますが、コロナ明け・3年間の空白などの困難はありますが、どうぞご協力の程よろしくお願い致します。



「公民館」を念頭に置いて、精一杯努めてまいりますので、皆様のご指導・ご支援を賜りますようお願い致します。



津房地区公民館主催

試行

ちやのみ フリーマーケット 茶飲み(蚤)の市

期日 7月16日(日) 9:00~12:00

目的 公民館を地域の方々との交流の場とし、津房地区のいろいろな人が集まってワイワイとお話などして、「つながって」もらうため。

内容は、①家庭でねむっている贈答品などで使わないもの ②農作物 ③手芸作品や工芸品など ④その他(基本的には何でもよいです) ⑤ただ、加工した食品は資格がなければ販売できません。資格があれば販売されても良いです。物々交換ならOKです。

主な目的は、「集まるとの交流」です。すから、⑤手ぶらで、見に来るだけでも良いです。

場所 公民館の会議室(談話室でお話だけでもあり)

※出品者は、お茶代として50円を頂きます。お茶は、公民館で準備して頂きます。

※物品のやり取りに関しては、公民館は関知いたしません。

※開館時間は上記の通りで、ご随意の時間で結構です。

今回はあくまでも、試行ですので、来られてたくさんのご意見を頂ければ幸いです。



榎本在住で、長年にわたり公民館指導員や公民館長を務められた永田知徳氏が、安心院地域ふれあい文化祭(毎年11月開催)のために、会場に掛ける横幕を自作されて、中央公民館に寄贈されました。

氏は従来より小学校で書道を指導されたり、一般向けに書道教室を開かれたりされていたそうです。横幕の文字もお手本無しにご自身の「感覚」で鉛筆で下書きをされ、色を入れていかれたそうです。「書き始めて、途中で時間をおくと文字の様子が変わってしまうから一気に書き上げないといけない。色塗りは、絵の具が乾くと色が変わるから、これも一気に仕上げないといけない」との事でした。

横幕の両側には「あけび」と「ぶどう」の絵柄が描かれていて、みんながつながるようにとの願いを込めたとおっしゃっていました。

どう思われますか？

先月の5月26日(金)に津房地区まつづくり協議会の総会が行われました。私も司会として参加しました。その中で、まちづくり協議会(以下まち協)の事業の一つとして津房小学校との共同の取組みとしてリサイクル資源回収事業があり、旧安心院農協津房支所の加工所にアルミ缶・スチール缶・PETボトル・一升瓶・ビール瓶・新聞紙・雑誌・段ボールだけを地域の皆様に出していただいています。その収益は、津房小学校との折半で、昨年度津房小学校に13万円余り分配することができていました。

私も公民館に勤務するついでに、時々アルミ缶やPETボトル、新聞紙を出しているのですが、集積場の様子を写真で紹介し、マナーの向上をお願いします。



ど 水筒、規定以外の瓶、傘など

「いやー、お見事！」

6/8(木)高齢者学級の皆さんが、小学生とのピンポン交流をしました。



牛乳パック

ティッシュ

白色トレイ

トイレトペーパーの芯

たばこの吸い殻

栄養ドリンクの瓶

営業用ヘアカラーのチューブ



今月はカタツムリ。童謡「かたつむり」には



でんでん虫と歌われていますね。公民館の玄関タイルの上を「歩いて」いたので、パチリ!梅雨の時期、活発に活動しているのでしょう。殻を作るカルシウム分を食べるためかもしれません。

童謡では「角出せ、槍出せ、頭出せ(2番は目玉だせ)」ですが、頭部の大小の突起は触覚で、長いほうは先端が目であると同時に障害物を感じ取るセンサー。短い方は鼻や舌の役目をしています。

カタツムリの最も面白いことは、雌雄同体ということ。つまり、一つひとつのカタツムリが雄でもあり雌でもある。ふつう動物は雄と雌がはっきりしている(体つきも異なる)のですが、カタツムリは雄・雌の区別がないのです。2匹が出会うとお互いに精子を交換し合って、自分の体内の卵と受精させて受精卵を作るのです。そして、両方が卵を産む。動きが遅く、行動範囲が狭いため、異性と出会う機会が少ないために、出会った個体と子孫をつくるようになったのだといわれています。

動物の中には、環境によって性別を変化せるものも少な

くありません。性っていうものは「あまい」なものかもしれません。

私たち人間は「動物」であり外見は裸のサルですが、脳を発達させ文化文明を築き上げた唯一の種です。もはや、動物ではなく「脳物」と分類してもいいぐらい、生活は脳に依存しています。故に、雄・雌に関しても生物学的にではなく、精神・心理的に考えてもいいのではないかと最近思います。そうすればLGBT(Q)やジェンダー(社会的・文化的な性による役割分担)の問題も柔軟に対応できるのではないのでしょうか。

※ジェンダーとは生物学的な性差ではなくて、社会的・文化的に作られた性差。例えば、「育児」。かつては母乳神話から、子どもは母親が育てるものとの意識がありました。でも現在、母乳だけで育てる事なんてないので、育児を父親がしてもよい。ところが、「育児は女性の役割」との意識が、残っていて男性が育児で仕事を休んでもいいと会社が制度を準備しても、なかなか男性が育児休暇を取らない。あるいは取りづらい!女性議員だって、女性管理職だって、一般的には少ないのが現状ですね。

料理教室の開催される曜日の変更のお知らせ

隔月の木曜日 → 水曜日

今年度は、7月26日(水)、8月30日(水)

10月18日(水)、12月20日(水)

2024年 2月21日(水) です。